

別冊 San-ai 会誌

リコー・三愛グループ(東京地区)

合同大運動会



「5年前の第2回運動会を東京体育館でおこなった時は、1000人の参加で会場は満員でした。それから今回は屋内競技場としては日本一の武道館で、一万1000人の社員やご家族に集まっていただくことができました。……3階まで上り下りし、埋めつくした広い武道館のロイヤルボックスで開会挨拶に立たれた経営大会会長の挨拶も感動のため、少し緊張気味。前回の運動会の際には、故市村会長は重病を患って出席され、それがまた私達に夢を見せられた最後であったが、今日は市村夫人も元気に入場された。私達社員を故市村会長は見守ってくれていたという気がする。(中略)」

今後の経営環境は厳しい。国内・外とも嵐の中を進むことを強いられるが、グループ各社は今後とも一層、団結と協力を強め進んでいく。今日は明るく楽しい一日でした。運動会は大成功でした。

広い会場、客席、紅組、白組、緑組と分れ、それぞれ応援団がついて趣向をこらした。総合同会はランオのデイスクジョッキーで有名な王居まさる氏が担当。時折出るタマレやアドリアで会場を彩っている。

室内競技場特有の照明効果、うへまか、大変カラフルな映る。選手の服や用具がさまざまな目に入る。さでそれでは競技を見ていただく。



オラ知らねエ、オラ知らねエ。(かごき競走)



もろに落っこちた日本リース金城さん。



はたからみる程楽なゲームじゃないんです。



ボールの行方はボールに聞いてくれ。(灯台元暗し)



重量級だから、ズシンズシンとひびきます。(男子リレー予選)



スタートだけは負けないワ。(女子リレー予選)



東にすべて転んだ人がいると聞けば飛んでいき、西に落っこちて泣いている人いればまた飛んでいく。会誌編集にあたっては新米記者と迷カメラマンを総動員してこの日会場のあちこちを走りまわって集めたのが以下の話題。

★カゴき競走は板の上へ女性を乗せて、男性4人でトラックを走る競技。全員ハッピーを着て、お祭り気分は最高。乗せて走る男性も大変だけど、乗っている女性はずっと大変。なにしろゆれる上に、つかむものがない台の上だから。日本リースの金城さんは、とうとうおっこちちゃって、あわれ医務室行きとなりました。

「痛いよ、痛いよと泣き叫んでおられるのではなからうか」と思っ、記者も心配で飛んでいきましたが、もちろんインタビュは不可。ノーコメント。大丈夫だったかな。

吹きとばしてアメをとろうという腹ですな。
あなた分ってらっしゃる。(飴喰い競走)



だいたい、おこしのつけ方を分っているのかナー。(仮装競走)



足が、足が、どれが私の足なの。(3人4脚)



何がみこまれて私をドラム叩きの役にー。(赤組応援団)



どうでもいいけど男の裸なんて汚らしいだけよ。

昼食時にはひっこめてね
「分ってくれないなあ」
(緑組応援団)



胸のWはトイレのそうじ係のマークかって?。これだから困るよ素人は。(白組応援団)



★鼻の頭にまだ白い粉がベツタリ残る二人に——「こんなところ撮るの? 知らない!。アメの味なんて分らなかったわ(といいつつ食べてるんだから、さすが分ってらっしゃる)。私何位だったのかしら(三愛・島田さん、三愛石油・上ノ原さん)★ややや、女の争いか、と思いきや三人四脚の一位と二位がもつれこんでゴールイン。くんずばぐれつの中、必死の形相で立ちあがろうとするものの、しよせんひもにゆわえられたつけ物ダイコンの日陰干し(失礼、ゴメンネ)。「どっちが一位か二位か分らない?」「どうでもいいけど、足が、足が……」(いや、ごくろうさまです。日本リース、三愛石油チーム)★あららら、紅組の応援団は、社内の民謡研究会を繰りだして、チャカチャカ赤い気エンをあげているが、まっ赤に塗ったミコシまで出して来た。台上のドラム缶を叩いて景氣をあおっているのは、何と花も恥じらう、うら若き乙女子。ああ、女だらに太モモなんかだしちゃって、くにおつ母さんが見たら嘆くよ。降りて来たところをつかまえてさっそくインタビュ開始。「恥しいわ。お嫁さんのもらい手がなくなるわ、会誌ののったりしたら。ええ、もう6年勤めています。」「この際、会誌に売りこんどくと、一人位、応募あるかも知れんぞ」とまわりの男性仲間に冷やかされっぱなしのお二人さんでした(リコー・関根、山田さん)。

仮装行列



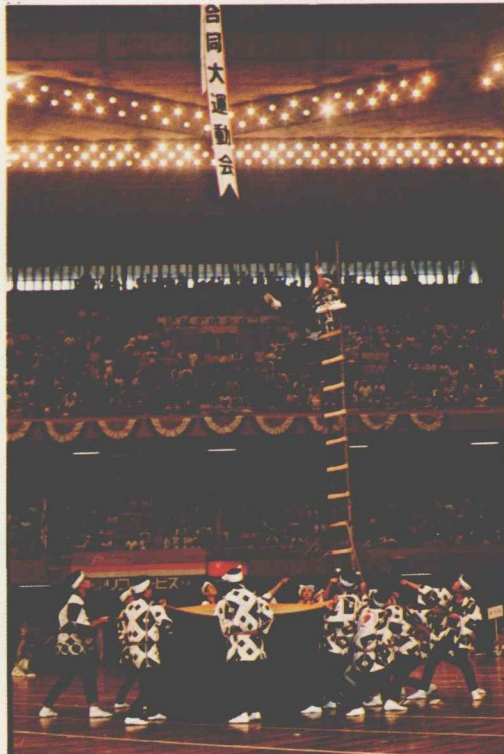
ちょうちょ、ちょうちょ、私はちょうちょ——年を考えるとなかなかこんなことやれんもんです。(リコー厚木)



足がよく動くこと、足のちょうつがいバカになってんじゃないかしら (いや失礼) (リコーマイクロ写真)



チームはかぶるのが好き。くつがかわいいでしょう。(リコー大森)



真打ち登場。三愛石油の名演技。(三愛石油)



うわーッ、すごいポイン、張切ってました。(三愛運輸)



ラグビー部6人対三愛バレー部15人ななせ観客、審判みんな女性に甘いからナー。バレー(アトラクション)



本人達は一生懸命なんだけど……
今度やる時はもっと分りやすくしてね。

(リコー電子)

「何時でござる」ー「ラーメン時よ」いや、なかなか悪ノリしますねエ、あなたも。(リコー時計)

観客席の声は

★「息子の運動会に孫と一緒に来ました。騎馬戦で、武士道とは死ぬことと見つけたり」というのは、佐賀の鍋島藩の葉隠精神だよと息子に話したよ(当日の進行係・リコー・松本さん)

さて、裏方さんの声も

★さてさて、ハイライトは仮装行列。概してコンニャク人間とでもいうべきか、足が器用に動く人が多い。まるであやつり人形をみているみたいなシーンが多かった。素人芸というのは、かつこうがつかずシラケさせるのが多い中で、リコーカメラチームのタヒチダンスは技術水準が高く注目された。柳課長のアイデアだそうだが、日劇ダンシングチームの指導を受け、披露までの1ヶ月、土、日みっちり練習して、苦労しましたのがこの芸。「うまいねエー」(さすがに男性の女装だけにキレイネエーの声は出ず)の声が会場のあちこちで聞かれた。販売店さんとの懇親会では会社専属ダンシングチームとして出場されたいかが、お品がよろしくてヨカッタワ。

あらやだ、うちの主人ったら、
もう知らない私。(観客席で)



馬子にも衣裳っていうけれど……すごい花嫁も
いるものです。(三愛)



ロボットのみなさんごころうさん。へんなものも
ありましたネ。
(千葉リコー販売)



こんな野球はじめてみました。ユーモアがあって
結構。結構。(東京リコー販売)



おい、お前は俺の後だよ。
番号よくみろよ。
しっぽが前きちゃおかしいよ。
(日本リース)



「キャア、きれい」「本当に男?」「あら、H。男だわよ」——
演ずるは金井克子の「他人の関係」(神奈川リコー販売)

さすがはプロのお手並、トチリ
昔ならしたスポーツ実況放送の
ここでも生きてます。
土居まさるアナウンサー



なぐられ役はホントにむずかしいんですよ。(東京リコマック)

母ちゃん見てっかな。おれの女装。それにしてもよくやるよ。(リコーカメラ販売)



どうもカメラの方が目立っちゃってこまるナー。(リコー光機)



★少し近目の記者が穴倉(退場門)から会場を見ていると、金井克子が「他人の関係」を歌って踊っているではないか。あの長いブルーのドレスに白い花を髪にとめて、「ホーきれいだな、ちよっと取材をやめてサインしてもらわなくっちゃ(どうもミーハー的でないね、私は)」と追っかけたが、これが何と神奈川リコーチームの力久さん。いやまだまだ美女がいる。山本リンダに紛した矢島さん、由美かおるに紛した酒井さん：「ウーきれい。皆さん本当に男性、あらら、つけまづけまでしちゃって……」それにしても皆うまいね、化けるのが、年はいくつなの」——

「あー失礼なこと聞くのね、この記者さん達……」ウーここにいと気が変になりそうだ、退散。

★いよいよ真打ち登場。仮装行列の優勝チームは三愛石油。どつちかというところのケバケバしさが続いた会場にクリーム色と黒のハッピを着た若者とおじさん(課長も混っていらっしやるから、念のため)の登場はブリッとした清涼感がありました。

若くて威勢のよい藤吉君が、かっこのいいハジゴ乗りをみせて拍手を浴びたもんネ。「こわいとか、失敗したらとかの心配はなかったけれど、何をやるかなかなか決まらず、ハジゴができてきて練習したのは三日間なんです」とのことだ。彼が会場に入るや否や、切った連続のトンボ返りには、客席が一瞬シーンとなり、三愛石油関係者は、この時シテやつたりと思っただんじやないでしょうか。

★「朝8時に柏の家を出て10時30分頃着きました。子供が小さいので、雨の中、荷物が大変でしたが、久しぶりの運動会なので、楽しんですね」(三愛石油・小美野さんの奥さん)。

光栄さんのおはあちゃん。

おっこちるなよ。あれ一馬の頭がとれちゃった。
どうする、止まる?(ミニミニ大作戦)



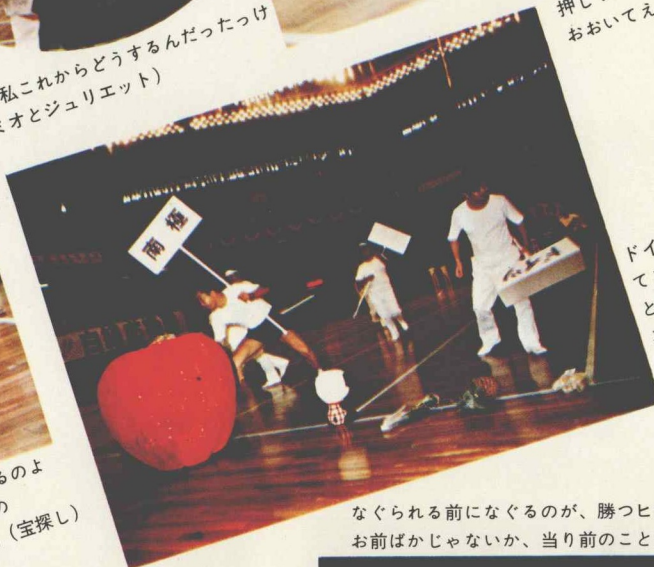
あら私これからどうするんだっつけ
(ロミオとジュリエット)



誰だ、おれにゴキブリの役を
押しつけた奴は。
おおいてえ。(ゴキブリホイホイ)



お嬢ちゃん、まっすぐ走るのよ
「エッ、トイレ行きたいの
製作担当者、どなたあ」(宝探し)



ドイツに関係あるもの持っ
てこいつって俺行ったこ
とないから知らないよ。
このパンダの人形かな。
いやこりゃ中国だろな
(お土産レース)

(騎馬戦)

なぐられる前になぐるのが、勝つヒケツです——
お前ばかじゃないか、当り前のことだそりゃ。アイターツ。

赤かて、白かて、いやこれは緑だったネ。(綱引き)



★「ミニミニ大作戦って、あれこれ
少しずつてしよう。競馬といっても
男子の馬に女性に乗るんだけどほん
の5mも走ったら、もう次のバスケ
ットボールゲームにバトンタッチと、
少し走りたりないわね」(日本リー
ス・西口さん)

★「体力・美貌・気力で選手に選ば
れたのよ」——とは綱引に白組とし
て出場したリコーの富田さん。ラジ
オからテレビに時代は移り、今や綱
引にまで「ビボウ」が要求されると
は、あなたはどうする?。

★トラックが板敷きということ、
走りにくい点もあったのだから、
バトン落としたり、同じ人が続け
て二度も三度も転んだり、ひっくり
返ったりと、とにかく順位の番狂わ
せが多かったリレー。さてそれぞれ
決勝進出し、優勝したチームの弁は、
まず女子の三愛チーム——「このメ
ンバーお互い初顔合せなんです。学
生時代はスポーツをやっていたのが優
勝につながったと思います。落っこ
とさないために、手をクロスして渡
すことに注意しました。リコーチー
ムに大柄な人が多かっただけに、当
初は優勝をあきらめていたとかで嬉
しさはひとしお。

さて男性は——カブが多くて一
周目でだいたいの後の勝敗も決まっ
てしまふとボヤキが出るコースであ
ったが、さすがに勝者はゆとりがあ
る。話すはリコー銀座チーム第一走
者内田さん「優勝の感想?そりや嬉
しいよ。しかし、それを意識しての
練習はやらなかったですよ。リレー
の賞品はいつもよいそうですから、
帰ってから女房と開けるのが楽し
みです」。

★マラソンは小雨降る中での疾走と



だってリコーの選手は
大きい人ばかりなんだから、やったでー
だからよけい「いっちゃん、やったでー」
(女の子の言葉じゃないわネ)って気になって
がんばったのー対抗リレーで優勝の三愛チーム。(女子リレー決勝)



リコーは秘密兵器ラグビーチームを出場させる。男子対抗リレーは独壇場。(男子リレー決勝)



「やりました。僕はやりましたよ……」 マラソン1位の渡辺さん。(マラソン)



スタートの時は俺が
一番だったんだけどねエー。
どうしてビリになったんだらう。
(マラソン)



がんばれ、せがれ。
おとうちゃんがついてるよ。
そうだったって僕目かくされてて
前みえないんだ。(助け合い競走)

幸運を射とめた人の声は

「まだピンとこないです。本当かな
という気持ちがあります(まだだけん
そうなる表情をしてらっしゃる。抽選
番号が一つ一つ自分のカードの番号
に近づいて行く時の気分は、大学の
入学試験の合格発表を見ているよう
な感じです。一人住まいで、カラー
テレビ持っていないものですから、
もちろん自分で使いますよ。四畳半
の部屋に入るかって?もちろん大丈
夫(笑い)」嬉しさがこみあげて
たまらないという表情の名古徹さん
(三愛勤務)は一等のカラーテレビ
の当選者。

★「もう体がガタガタふるえていま
す。たぶん今晩はねむれないと思っ
ます。ハワイには行きます。誰と行
くかは分りません。ほら体がふるえ
ているんです……」特賞のハワ
イ六日間旅行券はリコー厚木工場で
事務機器の製造関係の仕事に携わっ
ている杉田貴美子さんに。上司がこ
との他喜んでおられ、側で「よかった
ねよかったね」といっておられるが、
本人はやや茫然自失気味。ムリもな
い。確率なんと一万一、〇〇〇分の
一なんだから、記者なんかも彼女の
立場になったら、「ハワイ、ハワイ、
ハワイがああ」なんて口ばしっ

コンディショニング的には決してよくな
かったが、老若男子約一〇〇名が
参加した。上位10位まではほとんど
リコー勢と圧倒的な強さを示したが、
一着のリコー大森の渡辺さんは、ビ
ジョビショにぬれた顔で「ええ、勝
つ自信はありました」とケロリ、憎
らしいほどの余裕ぶり。さうすが。



ちやつてメロメロになっちゃうこと
 でしょう。おめでとう！。楽しい旅
 行をしてきてね！。

さて、戦い終わって日が暮れて
 ラッキーカードの抽選となりました。
 上位抽選は宝クジ方式で進められ、
 ショーガールが射る一本の矢によつ
 て次々に当選番号が決められていく
 ところが、ここでハプニング続出。
 自分の矢が運命を決めるとなると、
 緊張するのか、矢が的に当たらない。
 あさつての方向に飛んだり、足元に
 落ちたりと、そのつど館内の客を一
 喜一憂させる。何ともはや罰深い抽
 選光景になった。それでも土居まさ
 る氏の「赤の〇〇×番……」「青の
 〇〇×番……」と当選番号を読み
 あげる毎に会場はワーツと換声があ
 がる。各社対抗リレーも会場をわか
 せたが、この抽選会の興奮ぶりはこ
 の日最大のクライマックス。特賞発
 表時はファンファーレが鳴りひびく
 と同時に場内騒然となった。

▲続いて競技成績発表と賞状授与が
 行われた。閉会の挨拶に立たれた館
 林会長は「今日こそ我々グループ30
 社の挑躍台である。次回の大運動会
 では強い団結でもって、屋内で我々
 を収容できるところがなく、オリン
 ピックセンターで開かねばならない
 位の成長をしようではないか。今日
 は本当にありがとう。大変楽しい一
 日でした」と、グループ各社の繁栄
 を願つての力強い激励と、活躍した
 選手、参観者に感謝の挨拶をされた。
 そして今泉副会長の万才三唱が続き、
 閉会宣言は巻幡大会副委員長。「次の
 開催日まで、お互いがんばりましよ
 う」の声が広い会場に力強くひびく。
 螢の光の演奏に送られて、会場のラ
 イトが一つ一つ消えていく。さよう
 なら、さようならの言葉がこだます
 る……。